



まちの保健室イベントの様子（該当記事P4）

特集 special feature

圏域と分野を越えた災害時福祉支援体制の推進に向けて ～社協における災害時の協働を推進する県域ネットワーク会議～

CONTENTS

県内地域福祉活動の取組レポート	4
おとなも子どもも保健室登校 ～まちの保健室 Soranji（そらんじ）～	
県社協ニュース	6
岡山県社会福祉協議会 部署・事業紹介 ほか	
赤い羽根共同募金	11
「ふくし」の仕事人たち	12
合同会社リングサポート 相談支援事業所みらいのね 代表社員 理学療法士 小笠 佑輔さん	



社会福祉法人
岡山県社会福祉協議会
URL: <https://www.fukushiokayama.or.jp>
Facebook @fukushiokayama
Instagram @okayamakenshakyo



圏域と分野を越えた災害時 福祉支援体制の推進に向けて ～社協における災害時の 協働を推進する県域ネットワーク会議～

① 本会の取組

被災により地域住民は様々な生活の困りごとを抱えることとなりますが、災害時には誰かに相談をしたり、必要な支援を受けたりすることが困難となる場合があります。

日頃から地域住民に寄り添っている市町村社協は、災害ボランティアセンター等の活動や民生委員・福祉委員等の地域におられる支援者を通じて、災害時にも住民の困りごとを受けとめることとなります。

しかし、災害時には平時より多くの住民が困りごとを抱えることとなり、市町村社協や市町村域の支援者だけでは支えることができない可能性があります。

そのため、市町村内のみならず近隣の市町村や県域、全国域といった外部の力を借りることが重要です。また、生活再建に向けて資金や制

度利用上の問題、家族関係、心身の健康の問題などさまざまな住民からの困りごとを受けとめることとなります。その解決に向けては、福祉に限らない多様な分野の支援者と連携・協働することも欠かせません。このように災害時には、外部の力を借りながら圏域や分野を越えた重層的な支援をできるようにしていく必要があります。

しかし、災害時に何ができるのか、平時から何をしているのか、お互いを知らないことで連携・協働に時間を要することとなります。

外からの応援をうまく受ける力（受援力）を市町村社協などの市町



令和7年度「社協における災害時の協働を推進する県域ネットワーク会議」でのグループワーク

村域の支援者が平時から高めることも重要です。

岡山県内には、福祉の専門職で組成される「岡山県災害派遣福祉チーム（DWAAT）」、NPO等の多様な団体が参加している「災害支援ネットワークおかやま」、弁護士や建築士等の士業で組成される「岡山県被災者支援士業連絡協議会」等の被災者支援に関わるネットワーク組織や団体があります。

本会では、右記のような県域の支援者と市町村社協等が災害時に円滑に協働ができるようになることを目指して、令和5年度より「社協における災害時の協働を推進する県域ネットワーク会議」を開催しています。

令和6年度・7年度に開催した本会議では「県域の団体と市町村社協が災害時にお互いにできること」をグループワークを通して話し合い、見える化していきました。

本会議は年1回の開催ですが、災害時に協働するために、他の会議や研修などの場面で市町村社協と県域の団体とが学び合う機会をつくりました。



②市町村社協の取組

県域団体との平時からのつながりづくりについて、市町村社協でも様々な取組が進められています。本会も仲介しながら災害派遣福祉チーム（DWAT）が市町村社協の訓練に参加をしたり、県の総合防災訓練において一緒に訓練をしたりする機会が増えてきました。

また、玉野市社協では、本会が開催した会議での出会いをきっかけとして、今年度の常設型災害ボランティアセンター（※）運営委員会において、ファイナンシャルプランナーの佐藤香名氏を講師として招きました。災害時におけるファイナン



令和6年度「市町村社協災害支援担当者会議」における県域の支援者からの実践発表

シャルプランナーの役割や被災から長期にわたる生活再建を見通して平時から準備することについて運営委員と学ぶ機会をつくりました。

佐藤氏は、平成30年7月豪雨災害時には本会と一緒に市町村社協支援をしていただいた専門職です。現在も災害支援ネットワークおかやまの世話人をされており、福祉分野以外の専門職として、県域の団体として活躍されています。

玉野市社協の事例のように多様な分野の専門職や県域の団体と、会議や研修、訓練等を通して平時から一緒に取り組むことが、災害時にも協働できる関係性を強め、受援力を高めることにつながると考えます。※玉野市社協では、平時から災害ボ



令和6年度「岡山県総合防災訓練」（笠岡市）における笠岡市社協とDWATとの合同訓練

③今後に向けて

本会では、引き続き多様な支援者と市町村社協・行政とが災害時に円滑に連携・協働できるように事業を進めていきます。

あわせて、平時・災害時に県域として市町村社協の災害福祉支援を支援するセンター（災害福祉支援センター）の設置についても検討・準備を進めていきます。



令和7年度玉野市常設型災害ボランティアセンター運営委員会におけるファイナンシャルプランナーの佐藤香名氏の講義

ランティアセンターを設置し、災害ボランティアや防災についての広報・啓発等の取組を行っている。

お問い合わせ先

地域福祉部 地域支援班

☎086-2226-2835

名鉄観光サービス株式会社

観光庁長官登録旅行業第55号

（社）日本旅行業協会正会員ボンド保証会員

岡山市北区幸町8-29 大樹生命岡山ビル9階

TEL:086-225-2771 Fax: 086-225-7494 担当：中西・深井・三鬼

☆国内・海外を問わず、安全で快適な旅行をしたい！

☆日帰りで豪華な食事がしたいんだけど、どこが良いな？

☆予算がないんだけど1泊2日でどこか行きたいな～！

☆個人で出張や家族旅行で切符やホテルの手配が必要なのですが・・・

旅行の事ならなんでもご相談ください。様々なご相談、見積、手配もいたします。





(中央) 代表 酒井さん
(右から) ノートルダム清心女子大学
藤井さん(3年)、山本さん(3年)

県内で福祉を学ぶ現役大学生が取材・レポートします!

県内地域福祉活動の取組レポート

おとなも子どもも保健室登校 ～まちの保健室 Soranji(そらんじ)～

子育ての「総合案内所」を目指して
～お父さん、お母さんにも、子どもたちにも
「保健室」のような温かい居場所の提供を～



育児と仕事の両立、育児介護休業法改正により進む、男性育休取得等、子育てを取り巻く環境は劇的に変化しています。

しかしながら、住民同士のつながりが薄れる中、地域の中における孤独・孤立を感じる方も少なくありません。

「悩みを誰にも相談できず、誰ともつながれない」「急に社会との接点がなくなることが不安」等、これらの課題に対しての相談場所や地域での居場所が不足する現状もあります。

今回は、元学校養護教諭で、社会福祉士でもある酒井美貴さんが運営する、「まちの保健室 Soranji(そらんじ)」を取材しました。

保健室なので診察や治療はしません。訪れた方の話を聞いたり、相談に乗ったり、集った方同士で情報交換したり、雑談したり、と思いに過ごされる空間となっています。

子育て中の方だけでなく、子どもを育てた経験のある方、これから授かりたいと思っている方まで、子育てに関する地域すべての方への居場所づくりの大切さや、その活動に対する思いをお話いただきました。

活動内容について教えてください

Soranji(そらんじ)は、子育ての悩みや家庭での困りごとについて、開放時間であれば、いつでもふらっと、立ち寄れる場所を目指して運営しています。こうした「居場所」の提供によって、一人で抱え込まなくて済むような環境が地域の中に少しでも浸透していけばと思っています。

それは、この後に取組を始めたきっかけでも述べますが、誰かに話すことで心が軽くなることも多いからという自分の経験が根底にあります。

産前産後のお母さんや、育休中のお父さんも参加できる、子育て世帯向けの催し(一部有料)も実施しており、親子で参加しながら交流を深められるようにしています。これらの活動を通して、集った方同士のつながりが生まれ、地域全体で子育てを支える環境づくりに、つながれればと考えています。

また、育休中の親子に対しての関わりにも積極的に取り組んでいます。育休中は特に、「急に社会との接点がなくなり、孤立し、辛さを抱え込んだりする人が少なく

ない」と考えています。そうした孤立感が少しでも軽減できるように、Soranjiという居場所が、つながりづくりのお役に立てばと考えています。



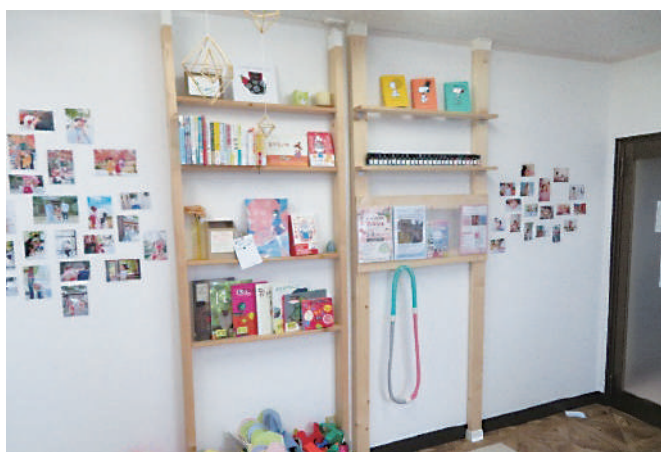
この取組を続けている理由

「まちの保健室」を立ち上げようと思ったきっかけは、「世の中への怒りや憤り」でした。夫の転勤で岡山に引っ越し、出産したものの、新型コロナウイルス禍の影響で、人との接触もなく、友人も親族もいない中での、2年間の子育ては本当に孤独との闘いでした。

子育ての過酷さは、多くの方が経験してきているのに、誰ともつながれない。誰からも救ってもらえない。

それなら、自分が動いて居場所をつくらう。それが、「まちの保健室」という形になりました。

ただ、「始まりと今」では、働きかけたいターゲットは少しずつ変わってきたような気がします。取組を始めたきっかけは、たしかに「世の中への怒りや憤り」でしたが、今は、しんどい思いをしている方々に「大丈夫？」と声をかけていける存在になりたいと思います、この取組を続けています。



子育ての「総合案内所」を目指して

子育ては終わりがありません。相談したくても、入園・卒園・入学・卒業のタイミングで、子育ての相談先のつながりが切れてしまうこともよくあります。そんな時、切れ目なく、支えることができた…。

「まずは、悩みをここで受け付けるよ」と伝えさせてもらって、その後は、必要な相談先につなげたり、一緒に考えたりしています。地域のネットワークにつながって、困りごとに応じて、助産師や保健師、保育士等の、つながる先にバトンを渡せたら…。そういった、子育ての「総合案内所」を目指しています。

学生や地域へのメッセージ

学生や地域の方には、特別な理由がなくても、まずは、誰でもいつでも相談できる場所があることを知ってほしいと思っています。

そして、「こんな場所があるから行ってみて」と周囲に伝えてもらえたら、一層ありがたいです。

この取組を通して、悩みが深刻になる前に、こうした場所の存在を、『予め』知っておくことがとても大切だと実感しています。



取材を終えて

(藤井さん)

子育てをする中で生まれる不安やストレスについて誰かに話して発散できる「地域の居場所」の重要性を強く感じました。

そして、酒井さんの「何も考えずに、しんどくなったら、行こう」と思える場所にしたい」という言葉がとても印象的でした。

様々な地域にこうした場所が増えていくと、「子育て」に対する不

安はもっと軽減されるのではないかと思います。

(山本さん)

今回の取材を通して、地域の中に「誰でも安心して立ち寄れる居場所」があることの重要性を学びました。子育ての中で追い詰められてしまいう前に、お母さんたちが立ち止まり、安心して話せる場所としての役割も大切にされていると伺いました。

大学生である私たちにも、このような場所を知り、周囲に伝えていく役割があると感じています。そう思える場所があるだけで、子育てをする人の安心につながるのではないかと思います。

大学生の私たちにできることは、このような場所の存在を知り、多くの人に広めていくことだと感じました。



お問い合わせ先

まちの保健室

「Soranjī」(そらんじー)

〒760-0823 岡山市北区下中野348-103

幸栄ビル2階

soranjī.hokenshitsu@gmail.com



岡山県社会福祉協議会 部署・事業紹介



岡山県社会福祉協議会は、社会福祉法に位置づけられた県域における地域福祉を推進する民間の団体です。

誰もが住み慣れた家庭や地域のなかで、その人らしい自立した生活が送れるような福祉のまちづくりを実現するため、県民をはじめ、関係者との連携・協働のもと、本年度も3部4班制で幅広い取組を実施してまいります。機関紙「県社協ニュース」では、その時期の注目の事業を報告・紹介しております。

地域支援班

TEL:086-226-2835
FAX:086-225-6602

地域福祉推進事業

県内の地域福祉の推進を目指して、市町村社協職員のコミュニティソーシャルワークのスキルアップに向けた研修等を行っています。



また、複合的な地域生活課題に対応するための包括的な支援体制整備の推進や生活困窮者支援、孤独・孤立対策に向けた各種事業・研修を行っています。

県内の地域福祉を推進するために、市町村社協や民生委員・関係団体と連携して地域福祉活動の支援や研修を実施しています。また、市町村社協地域福祉推進委員会では、市町村社協の経営基盤強化を目的に組織力向上等に取り組んでいます。さらに、地域共生社会を目指して包括的な支援体制の整備を進める一方で、生活困窮者支援や孤独・孤立対策のためのプラットフォーム構築にも努めています。

ボランティア・NPO 支援事業

ボランティア・NPO活動や福祉教育、災害ボランティアの支援体制の整備等を行っています。



岡山県版福祉教育ガイドブック

社協ボランティアセンターやNPO団体等の連携のもとで、ボランティア・NPO活動に関する相談支援、福祉教育、各種研修を行っています。また県内外の災害ボランティアのネットワークづくり等にも取り組んでいます。

その他の連携・支援事業

その他、県民生委員児童委員協議会、県地域包括・在宅介護支援センター協議会の事務局や長寿社会推進センターの運営等を担うなかで、関係機関・団体との連携・支援を行っています。また、福祉教育教材やニュースポーツ用具の貸出を行っています。

経営支援班

TEL:086-226-3529/ FAX:086-227-3566 (経営支援班)
TEL:086-226-2827/ FAX:086-227-3566 (福利厚生制度)

経営支援事業

社会福祉事業の円滑な運営を支援するために、福祉経営相談事業や研修等を行っています。

社会福祉法人の経営を支援するために、人材確保・定着に向けた取組状況調査や賃金実態調査などの研究事業や法人経営に関する情報収集・提供、経営相談事業を行っています。

また、県社会福祉法人経営者協議会を組織し、利用者本位のサービス提供、地域に根ざした法人経営に向けて、経営力の向上を図っています。その他、県老人福祉施設協議会、県保育協議会、県障害福祉施設等協議会、県児童養護施設等協議会、県保護施設等協議会といった各種別協議会の事務局を受託しています。

福利厚生事業



福祉の職場で働く人の福利厚生を支援しています。

県内の福祉の職場で働く人を対象に、退職金の給付制度（共済制度）を運営しています。また、職員の福利厚生の充実と資質向上を図ることを目的に、助成金や慶弔給付金等を支給する互助制度（育成制度）を運営しています。

その他、受託事業として福利厚生センターの福利厚生制度事業も行っています。

生活支援班

TEL:086-226-3544 / FAX:086-225-6602 (生活福祉資金貸付事業)
TEL:086-226-4145 / FAX:086-226-3557 (日常生活自立支援事業)
TEL:086-226-2840 / FAX:086-226-3557 (地域生活定着支援センター)

生活福祉資金貸付制度

様々な課題を抱え困窮されている低所得者、障害者、高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を通じて、借入相談者や世帯の生活再建を支援します。

県社協は、審査機関としての役割を担っており、貸付の申請・相談窓口は、各市町村社協担当者が対応します。市町村社協のみならず、福祉の相談窓口、民生委員の皆様等と力を合わせ、生活できるようサポートします。

詳しい資金種は、右記の二次元コードからアクセスください。



介護福祉士・保育士等の資格取得・復職への支援

養成校卒業後や資格取得後、定められた業務に一定期間継続して従事することを条件に貸付金の返還を免除する仕組みが設けられている各種貸付制度を実施しています。

≫介護福祉士・社会福祉士修学資金

介護福祉士又は社会福祉士の資格の取得促進と養成確保を目的に資金貸付を行います。

≫保育士修学資金・保育士就職準備金

保育士の資格の取得促進と養成確保を目的に資金貸付を行います。新たに県内の保育所等で保育業務に従事する潜在保育士には就職準備金の資金貸付もあります。

≫介護分野・障害福祉分野就職支援金

他業種で働いていた方等が、介護職員初任者研修等を修了し、介護分野又は障害福祉分野へ就職する際、就職支援金の資金貸付を行います。



日常生活自立支援事業・権利擁護支援体制の推進

認知症や障がいなどにより、判断能力が十分ではない方が、住み慣れた地域で安心して生活できるようお手伝いします。

毎日の暮らしの中で、福祉サービスの契約の判断に迷ったり、日常のお金の管理に困っている場合に、『福祉サービスの利用援助』、『日常的金銭管理サービス』、『書類等預かりサービス』を実施しています。

その他、市町村行政や関係機関等との連携・協働のもと、地域における総合的な権利擁護体制の構築に努めています。

地域生活定着支援センター

司法と福祉の連携協働により地域での再出発を支えます。

地域生活定着支援センターは、矯正施設（刑務所・少年院）を出所もしくは釈放された高齢者や障害のある方が地域で安定した生活を送れるよう、関係機関と連携しながら、個別に伴走型の支援を行う部署です。社会に向けた福祉教育にも力を入れています。



福祉人材支援班

TEL:086-226-2888 / FAX:086-226-3557 (福祉人材支援班)
TEL:086-226-3507 / FAX:086-801-9190 (福祉人材センター)

福祉の人材確保、職場定着、魅力発信、福祉施設職員等の研修 など

きっと見つかる自分に合った福祉の仕事



岡山県福祉人材センター

福祉人材無料職業紹介所

無料職業紹介所として、福祉分野のお仕事をしたい方と、その人材を求める事業所とのマッチング支援をしています。あなたに合った職場探しを支援します。お気軽にご相談ください。

社会福祉施設等で働く職員を対象とした階層別の人材育成研修のほか、専門性の向上や資格取得に向けた研修も行っています。



福祉の就職フェア岡山

総務企画部

TEL: 086-226-2822 (代)
FAX: 086-227-3566

法人組織の運営

県社協全体の企画・調整を行っています。



役員会等の開催、会員組織・制度の充実、県社協内外の連絡調整、経理事務等、法人組織の運営のために必要な業務を行っています。

その他、災害時の福祉支援総合調整、県総合防災訓練への参加、社会福祉の向上に尽くされた方々の表彰（県社協会長表彰等）や社会福祉関係図書等の販売、福祉に関する図書・DVDの貸出も行っています。



『わたしの生き方ノート』～最期までわたしらしく生きるために～のご案内

本会が作成したエンディングノート『わたしの生き方ノート』を販売しています。エンディングノートとは、自分の人生の記録や残された人に向けたメッセージ、連絡先などの必要事項を書き記すノートです。

書き方に迷ったとき、わからないときの参考に記入例も付属しています。また、ご購入いただいた方には、ノートの活用方法を学べるDVDを無料貸出しております。

ふれあい・いきいきサロン等でご利用し、終活について学んでみませんか？

◆規格 A4 サイズ／6 頁
(クリアファイル、記入例つき)

◆価格 250 円 (税込)

◆受取方法 窓口もしくは郵送
※郵送希望の場合、ノート代のほか送料 (実費相当) ががかかります。
本会会員の方は 2 千円以上のご購入で送料無料。



<お問い合わせ先>

総務企画部

TEL : 086-226-2822 FAX: 086-227-3566

<https://www.fukushiokayama.or.jp/about/book/>

岡山県社会福祉協議会 人事異動のお知らせ

異動

令和 8 年 4 月 1 日付

新所属・職名		氏名	旧所属・職名
総務企画部	主事	中 島 桂 子	同部付
地域福祉部	地域支援班	主幹 田 口 都	同部・同班 主査
	主事	足 田 大 志	福祉支援部・福祉人材支援班 主事
福祉支援部	経営支援班	主任 武田 宗一郎	福祉支援部・生活支援班 主任
	生活支援班	主幹 小武守 敬子	同部・同班 主査
福祉人材支援班	主任	三 宅 啓 太	地域福祉部・経営支援班 主任
	主事	島田 二千翔	地域福祉部・地域支援班 主事
	主幹	貝 原 翠	同部・同班 主査
	主事	鈴 木 健	同部・生活支援班 主事
	(兼務) 書記	太 田 成 美	同部・生活支援班 書記
	(兼務) 書記	友 森 緑	同部・生活支援班 書記
福祉人材支援班	(兼務) 書記	吉 岡 一 恵	同部・生活支援班 書記

異動

令和 8 年 4 月 21 日付

新所属・職名		氏名	旧所属・職名
福祉支援部	生活支援班	主事 加 藤 友 梨	総務企画部付

ご寄付
ありがとうございます

令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月にご寄付をいただいた皆様です。岡山県内での地域福祉活動や災害時の支援活動など、本会事業推進に有効に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

【一般寄付】

・高山 科子 様

・(株)アミパラ 様

・岡山県農業共済組合 様

・フクシマガリレイ(株)岡山支店 様

・小泉 穂高 様

・王神 様

【災害支援寄付】

・KDDI(株) 中国四国総支社

・中国管理部 様

・岡山県警通会 様

【香典返し】

・中田 里美 様



【ご寄付のお申し込み・お問い合わせ先】

総務企画部

086-226-2822

不動産の無料相談会を県下5か所で開催中

岡山地区

毎月第1～4水曜日
午前10時～午後3時まで
会場：岡山県宅建会館

津山地区

毎月第2金曜日
午前10時～午後3時まで
会場：津山宅建会館

倉敷地区

毎月第1・3金曜日
午前10時～午後3時まで
会場：倉敷市役所本庁舎1階20番窓口

総社地区

偶数月の第2木曜日
午前10時～午後3時まで
会場：総社市役所

笠岡地区

奇数月の第2木曜日
午前10時～午後3時まで
会場：笠岡市役所

お問い合わせ先



公益社団法人 岡山県宅地建物取引業協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会岡山本部
〒700-0023 岡山市北区駅前町 2-5-28
TEL: 086-222-2131



※お電話での相談は受け付けておりません。
※予告なく変更する場合がございます。
HPでご確認ください。



岡山県地域生活定着支援センターによる 「対話型」福祉教育の取組

「異なる価値観の人を排除せず、
共に生きる社会を目指して」

（１）地域福祉・ヒューマン
ライツフォーラム
「映画上映と「対話」の場

令和7年11月22日（土）に、美作大学と共催で、日本の刑務所での受刑者同士の対話の取組等を取材したドキュメンタリー映画「ブリズン・サークル」上映を含む県民向けフォーラムを開催しました。当日は、100名の方が参加、上映後は、全体でグループをつくって感想を語り合う対話の時間を持ちました。

会場に集まった20代～80代、大学生、福祉職、心理職、医師、司法関係者、保護司など、多様な世代・立場の人達と一つの映画を通して、世の中のあり方を考える場になりました。

本センターでは、世の中に知られていない取組に光をあてるドキュメンタリー映画を多様な世代と観て、共に語り合う、対話型



福祉教育実践を継続して行っています。今回は、美作大学の松尾ゼミの皆さんに運営協力をいただきました。

住み慣れた地域で尊厳ある暮らしを目指す社会福祉協議会だからこそ、こうした福祉教育実践を引き続き、実施していきます。

（２）岡山刑務所の矯正展に参加
「アンケートによる「対話」の場

令和7年10月11日（土）、12日（日）に岡山刑務所において開催された第38回岡山地区矯正展に出展しました。本センターからは、昨年に引き続き、福祉教育実践として「対話型アンケート」を実施しました。

会場にいられた方に、地域生活定着支援センターの仕事、触法障害者、高齢者へのサポートについて説明した上で、「自分とは異なる立場や価値観の人を排除せずに、ともに生きていくには、どうしたらいいと思いますか？」などの質問に答えていただきました。



（３）おかやま矯正施設見学ツアー
「対話型施設参観」

本センターは、司法と福祉の連携を担う機関として、福祉職の方に、罪を犯した高齢者、障害者の現状や矯正施設について知ってもらうことを目的に、毎年、矯正施設見学会を開催しています。

今年度は、岡山少年院と連携して、「対話型施設参観」を導入。見学ツアーの中で、矯正施設職員とじっくり対話する参観を実施しました。参加者からは、実際に職員の方と話すことで、矯正施設の



イメージがかなり変わったことや、地域生活を支える立場で協力していききたいなどの感想をいただきました。

【お問い合わせ先】

福祉支援部 生活支援班
地域生活定着支援センター
086-1226-2840

令和7年度、新たに5法人が「すまいる宣言」に登録！

令和7年度は、新たに5法人が新規登録、3法人が更新を完了しました。現在44法人615事業所が登録されています。

New! すまいる宣言5つ星宣言事業所 ★★★★★

OKA00041 社会福祉法人津山社会福祉事業会（津山市）

OKA00042 株式会社両備ヘルシーケア（岡山市）

OKA00043 社会福祉法人超寿会（総社市）

OKA00044 医療法人医清会（岡山市）

OKA00045 社会福祉法人 P.P.P.（倉敷市）

学生・求職者の皆さんへ

自分らしく働ける職場探しに、「すまいる宣言」の「口」を探してみませんか？

<更新登録3法人>

027- 更① 社会福祉法人 雪舟福祉会（総社市）

028- 更① 社会福祉法人 清桜会（岡山市）

029- 更① 社会福祉法人 岡山博愛会（岡山市）

笑顔で働ける職場を『見える化』しませんか？
すまいる宣言スタート応援相談を実施中！

すまいる宣言への申請や更新を考えている法人・事業所向けに、毎月第3水曜日の13時～16時に定期の相談日を設けています。お気軽にご相談ください。



「すまいる宣言」サイトでは、求人票では分からない、職場の姿を確認できますので、ぜひご覧ください。

【お問い合わせ先】
福祉人材センター

☎086-1226-13507

ハラスメント対策、今の体制で本当に大丈夫ですか？

NO
ハラスメント

管理職・相談窓口担当者研修、体制の整備、外部相談窓口
トータルでお引き受けします

Ai あい社会保険労務士法人 ☎0863-81-5634



特定社会保険労務士 佐藤起世子
〒706-0024 玉野市御崎 2-3-13

あい社労士法人 検索

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中！
メルマガはHPからお申し込みください。

西日本自動車共済協同組合

お見積り、事故のご相談、すべて無料！
お気軽にご連絡下さい。



岡山県支部
〒700-0827 岡山市北区西古松 237-126 松本ビル3F
TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵 2-15-25
TEL：092-441-5901

NJ730.2103.0213.999999

人気防災グッズ各種販売中
もしもの時のために備えて安心!!



株式会社 チヂキ
CHIJIKI PROJECT

〒701-0221 岡山市南区藤田 566-185（藤田企業団地内）
☎(086) 296-0555 (代) / FAX (086) 296-0606
E-mail: okayama@chijiki.com

赤い羽根共同募金

岡山県共同募金会



令和7年度の「共同募金運動」ならびに「歳末たすけあい運動」につきましては、県民の皆さまより温かいご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

下記のとおり、募金実績等を報告いたします。

共同募金運動

募金総額 240,122,306 円

保育所や障害福祉サービス事業所等様々な福祉施設の設備・備品や車両整備費、児童養護施設入所児童等の支援、ボランティア・NPO団体などを含む福祉関係団体や社会福祉協議会が行う地域福祉活動などに活用され、さらに大規模災害の発生にも備えます。

歳末たすけあい運動

募金総額 50,287,339 円

【内訳】

地域歳末たすけあい 45,401,572 円

NHK 歳末たすけあい 4,885,767 円

地域で行われる訪問活動や配食サービスをはじめ、福祉関係団体の活動や障害者福祉施設などの備品整備などに活用されます。

令和7年度共同募金配分（令和8年度実施事業分）

令和7年度に県民の皆様からお寄せいただいた募金について、配分委員会で慎重に審議のうえ、配分を決定しました。（総配分予定額2億6609万円）

このうち、125件2億1853万円余について、4月13日に共同募金配分交付式を開催し、対象の施設・団体に対し配分決定通知書を交付いたしました。今年度それぞれの配分先において有意義に活用していただきたいと思います。

また、今後助成事業を公募するものもありますので、本会ホームページをご覧ください。（岡山県共同募金会 HP）



配分先・事業	配分額（円）
民間社会福祉施設・事業所等のサービス・機能の充実強化（23件）	13,190,000
県域福祉関係団体の活動支援（20件）	5,760,000
県・市町村社会福祉協議会の地域福祉活動・支援（68件）	188,061,572
赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業（1件）	120,000
赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」（9件）	9,770,000
NHK 歳末たすけあい2次配分・障害者福祉施設（4件）	1,630,000
合計（125件）	218,531,572



ありがとうメッセージ（令和7年度実施事業）



社会福祉法人南野育成園（岡山市）

皆様からお寄せいただいた温かいご支援により、海旅行を開催することができました。

1年を通して園外での活動が減多にない中で、この機会を通じ、公共の場でのマナーやモラルの意識を学ぶことができました。

海水浴やスイカ割りという夏のイベントを目いっぱい楽しんでいる子どもたちの姿や、一生懸命沖へと泳いでいく姿を見ていると、実施できてよかったと職員一同、大変うれしく思っております。

これからも感謝の気持ちを忘れることなく、子供たちのために精進してまいります。本当にありがとうございました。



> No.71

合同会社リングサポート
相談支援事業所みらいのね

代表社員 理学療法士

小笠 佑輔さん

「あの療法士さんに聞けば、きっと、誰かに、つながれる…」

～輪のように医療福祉と地域を
つなげられる架け橋のような存在に～

▼理学療法士として働いて来られた、今までのことについて教えてください

子ども時代は野球をしており、新聞で見た「甲子園で働く理学療法士」という内容の記事を読み、「人を助けることのできる仕事に就きたい」と考え、理学療法士になりました。

医療機関で勤務していましたが、病院を退院しライフステージの変わりゆく方々につながり続けることの必要性を次第に感じるようになりました。

そうした中で、医療福祉と地域の架け橋になりたいと考え、岡山ロボケアセンター出向後、そのまま就職し、現在は相談支援事業所を立ち上げ、理学療法士、相談支援専門員として従事しています。

▼現在の仕事内容について教えてください

相談支援専門員として、お子さんや、ご家族の相談を伺い、計画相談に携わるのはもちろんのこと、コンセプトとしては、地域の『かかりつけ療法士』を目指しています。

「家のこと、補装具のこと…」住環境や装具のこと等、生活に取り入れてみたものの、その後、実際、使ってみてどうかというところまでは、なかなか評価や判断が難しいですね。そういったところにも携わって、適切なサポートができる自分ひとりで、対応が難しくければ、他のサポートできる方を紹介する。

最終的には、「あの療法士さんに聞けば、誰かにつながれるのでは？」と思っ

てもらえるよう、「つながりの見える化」を視点に置きながら、仕組みづくりを進め、拡げていくことも目指しています。

▼会社名に込めた想いや、今後について伺いさせてください

合同会社リングサポートは、根幹として、理学療法士の知見を活かしつつ、その周辺にある課題や取組に対して輪（リング）のようにサポートしていけることを目標としています。

成人の場合、支援のネットワークは、比較的、途切れることなく、各専門職が役割分担できていると感じていますが、子どもの場合、まだまだ支援のネットワークが、途切れ途切れになっていることが課題であると考えています。そのため、リングサポートでは、特に子どもの相談に重点を置き、切れ目ない支援に取り組めます。

みんな、それぞれに「個」がありつつも、地域に帰れば、「輪」のようにつながれる。

そして、未来へとしっかり「根」を張ることができるよう、一緒に考え、支えていけることが今後の目標であり、事業所を「相談支援事業所みらいのね」と名付けた理由です。今後も、地域の拠点としての取組を広げていきたいですね。

【お問い合わせ先】
合同会社リングサポート
相談支援事業所みらいのね
倉敷市大島133-41
☎090-8231-5071



機関紙「岡山県社会福祉」へのご意見・ご感想をお寄せください!

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■ 郵 送：〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階

岡山県社会福祉協議会 広報班

■ FAX：086-227-3566 まで

なお、当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

